

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京医科歯科大学拠点連携校共通						
教育プログラム・コース名	連携7校共通：がんサバイバーを支える多職種医療人養成コース（インテンシブコース）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、看護職者、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、管理栄養士等医療従事者、大学院生						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	①がんサバイバー・家族の身体的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアが提供出来る人材。②がんサバイバー・家族の心理的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアが提供できる人材。③がんサバイバー・家族の社会的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアが提供できる人材。④がんサバイバー・家族が、がんを自己の問題として捉え、がんと共に生活すること、がんの再発を予防する生活を再構築する支援できる人材。						
修了要件・履修方法	所定の講義、実習を履修し、試験に合格すること。						
履修科目等	①がんサバイバーシップ、②がん治療とお金、③意思決定支援、④がんと治療に活用できる社会的支援・制度、⑤小児がんサバイバー・家族への支援、⑥AYA世代のがんサバイバー・家族への支援（妊孕性、がんサバイバーの親をもつ子どもへの支援）、⑦高齢期のがんサバイバー・家族への支援（フレイル予防、サルコペニア予防、認知機能低下予防・認知症がある高齢者に対する社会的孤立予防等）、⑧がんサバイバー・家族へのメンタルケア（自殺予防、がんにより発症したうつ病、グリーフケア、サポータティブケア）、⑨精神疾患をもつがんサバイバーへの支援、⑩がん治療と仕事の両立支援、⑪地域連携、⑫アピアランスケア、⑬がんの再発予防（食事、運動、受療行動等のセルフマネジメント）、⑭障がい（視覚障がい、聴覚障がい、知的障害等）をもつがんサバイバー・家族への支援等の内容を提供する。						
がんに関する専門資格との連携	がん看護専門看護師・がんに関連する認定看護師、がん専門薬剤師、がん病態栄養専門管理栄養士、がん専門相談員等						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がんはどの年代においても発症する可能性がある。またがんとともに過ごす期間も延長している。がんサバイバー・家族に関わる医療従事者は発達段階や発達課題を考慮し、個別性のあるケアの必要性を認識している。しかし、個別性のあるきめ細やかなケアの提供は難しい。本コースではがんサバイバー・家族へのケアをする際に必要な基礎的知識を様々な専門職種から学修することができる。またオンライン授業やe-learning等の学修環境を整備することにより受講生が履修しやすい環境を整備する。連携校にはがんに関する様々な専門職種がおり、受講生に対し最新知見の情報を提供できる。さらに多職種が共に学ぶことにより職種の考えを共有出来ることは、現場における多職種連携を学べる点で受講生にとって大きなメリットとなる。						
指導体制	連携大学の医師、看護職者、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、管理栄養士などが学内外の専門職種が連携して講義、実習等を提供する。						
修了者の進路・キャリアパス	がん診療に携わる様々な施設・部門・部署において自己の専門的スキルを発揮したケアを提供可能な専門職になることができる。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	30	30	30	30	30	150
受入目標人数設定の考え方・根拠	連携校においてがんに関連する専門職の人数と実習の受け入れ人数上限を踏まえ、目標人数を30人/年として設定した。						